

共同代表：島 042-327-9330 深澤 042-341-7524 e-mail: kodaira_kankyo@jcom.zaq.ne.jp

講演会 PFAS 問題（水汚染）を追って—沖縄と多摩—

開催しました！

有機フッ素化合物（PFOA, PFOS など 5000 種類以上あり、総称 PFAS）はフライパンや防水スプレー、化粧品、半導体など「台所から宇宙まで」と言われるほど広く便利に使われていますが、その地下水汚染が、沖縄、東京多摩、大阪など各地で広がっていることがわかってきました。そこで私たちは沖縄の基地問題に取り組んでいる市民グループ、〈辺野古問題を考える小平市民の会〉、〈「語やびら沖縄」もあい練馬〉と共に「PFAS 汚染問題を考える会」を作り、2023 年 3 月 25 日（土）夜、国分寺の cocobunji プラザリオンホールで上記の講演会を開催しました。参加者は予想を大きく超えて会場超満員の約 160 人、さらにオンライン参加も約 80 人となりました。



最初に短いドキュメンタリーを上映して沖縄の PFAS 問題の全体像をつかんでもらい、次に沖縄出身の明有希子あきらさんが、「基地のそばで暮らすということ」というテーマでお話しされました。米軍機からの落下物が娘の保育園に落ちるといった経験をした明さんは、PFAS 問題でも米軍の好き放題が繰り返されていることを訴えました。PFAS を含む消化剤が巨大な泡となって基地外に流出した事故、米軍が汚染水を一方的に下水に放出し、保管していた残りの汚染水はなぜか日本の税金で焼却処分されたこと。最後に、47 都道府県を 1 クラスに例えるなら「沖縄さんが 33 個のランドセルを持たされているのと同じだ」とイラストで基地負担の現実を明示されました。

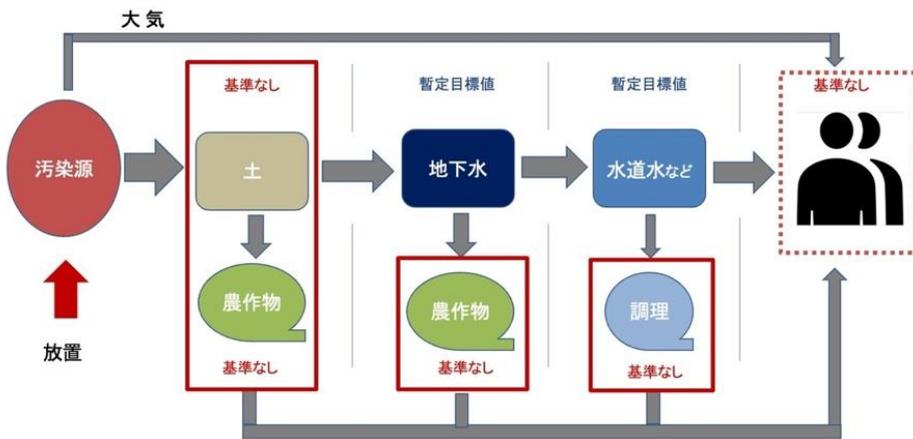
次に登壇した根木山幸夫さんは、多摩地域住民に広く血液検査を呼びかけ、一気にこの問題への関心を高めた「多摩地域の有機フッ素化合物（PFAS）汚染を明らかにする会」の共同代表、事務局です。昔から地下水を大事にしてきた多摩地域で水道水に使われていた井戸水の汚染が発覚、東京都は 2019 年、3カ所の浄水所で井戸水の取水を停止して河川水に切り替え、PFAS 濃度が管理目標値（50ng/L）以下になったから安全だと発表した、しかし同時に 2011 年から目標値の 2、3 倍汚染された水を住民が飲み続けていたことがわかり、それで血液検査に取り組むことになったとのことです。検査は昨年 11 月から 20 自治体の 18 会場で 650 人が受け、米基準に照らすと最初に結果が出た 87 人の 85% に健康被害の

目 次	
講演会 PFAS 問題（水汚染）を追って・・・	1.2.3
忘れない 3.11 展 報告・・・	3.4
人工芝化／パブコメ・・・	5
ごみゼロフリマ／総会のお知らせ／編集後記・・・	6

恐れがあることがわかりました。

汚染源については、2000年頃からの多摩川の水質検査で半導体工場や自動車製造工場の排水から高濃度のPFASが検出されたことから、東京都は横田基地もありうるとしつつ、汚染源はわからないとしています。だから基地への立入検査は求めない、調査結果は発表するが対策は取らないということになっているのです。根木山さんは土壌・地下水の汚染は、横田基地で繰り返し行われた泡消化剤による飛行機の消火訓練で、PFASの成分が空中に飛散、地面に浸透した結果ではないかと指摘しました。そして最後に、血中濃度が高い人への医療的ケア、浄化槽で地下水の汚染を除去すること、土壌のボーリング調査で汚染源を明らかにすることを求めました。

3人目の諸永裕司さんは以前、朝日新聞の特別報道部に所属し、沖縄の基地に関心を持っていたが、日米地位協定を取り上げたくても難しく理解してもらえない、そこで沖縄で報道されていた米軍基地のPFAS汚染とその理不尽な後始末に注目、横田基地でも沖縄と同じことが起こっているのではないかと水問題を追い始めたそうです。まず、分解されにくく蓄積されやすい「永遠の化学物質」と言われるPFASの性質、それから下の模式図で汚染のメカニズムを解説されました。



諸永さんが満員の会場に「国分寺の方、手を上げて」と言うと大勢の手が上がりました。続けて諸永さんは「国分寺は日本一のホットスポット、最も汚された地域です、知らされずに飲まされてきた、そのことにまず怒っていただきたい」と呼びかけました。取水停止

前、国分寺の東恋ヶ窪浄水所（小平市上水本町5、6丁目にも配水）は地下水100%でしたが、血液検査の結果、国分寺市民65人の血中濃度の平均は全国の3倍以上、94%の人がPFASの米基準20ng/Lを超えていたのです。実は2003年に多摩川の水の汚染がわかってから、東京都は飲み水の濃度を非公表のまま測り続け、2019年には密かに浄水所の取水を停止していたのですが、それは諸永さんの入念な調査でわかったことでした（『消された水汚染』参照）。しかし少し報道はあったものの大きな問題とはならなかった、それは報じなかったメディアの責任が重い、基地の存在に翻弄されてきた沖縄で母親たちがすでに声を上げていたのに比べ、明らかに温度差があったといいます。

アメリカでは国防総省がPFASタスクフォースを立ち上げ、汚染施設の土壌を浄化、周辺住民にミネラルウォーターを配ったり浄水施設を作ったりしているのに対し、沖縄では日本に金を出させて基地の飲み水を浄化し、県が基地内の調査をすることも一向に認めません。なぜなら、日米地位協定では「汚染が現に発生している時」しか調査できない、つまり消火訓練を中止する前の過去の汚染は調べられないからです。そこには汚染者が責任を負わなくていい、汚染された側が税金を使ってその尻拭いをし、しかも汚れた水を飲まされるという、いびつな日米関係があると指摘されました。

一方で水の指紋ともいべきヘキサダイアグラムを調べると、横田基地から流れる地下水の下流にあたる立川、国立、国分寺はほぼ同形なのに対し、小平、清瀬、稲城、小金井はそれぞれに違っているので工場など別の汚染源も考えられるそうで、一筋縄ではいかない問題です。

2023年末にもアメリカではPFOA、PFOSを共に4ng/Lとする規制値（従来は勧告値で合計70ng/L）が決まる見通しで、EUはPFAS全体を使用禁止にしようと動いているが、日本はただ傍観し後追いつるしかない、まるで空洞、それは判断するデータを持たない、（血液中の化学物質濃度を測る）バイオモ

モニタリングを実施していないからということでした（環境省はお金がないので 100 人規模の調査しかできていない）。みんなでバイオモニタリング制度が必要との声を上げ、一方で汚れた水を飲ませ続けた責任のある行政が、自ら汚染地域の健康調査もすべきと提言されました。沖縄では下水汚泥が肥料として再利用され、農産物を通して PFAS が体内に戻る食物連鎖が起こっている疑いがあるとのことで、土壌の基準を作って再汚染を止めること、また、基地への立ち入り調査などで汚染源を特定して汚染を除去することも、まとめて掲げられました。

主な質疑応答



<諸永さん> 健康への影響は？ PFAS の半減期は 4、5 年。摂津市でダイキン工場により汚染された井戸水を撒いて野菜を作り食べていた男性は血中濃度が非常に高かったが、野菜作りをやめると 1 年か半年で急激に血中濃度が低下した。**／ 飲用井戸の規制は？** 民間の飲用井戸や専用水道は水道法の枠外。行政は所有者に危険性をきちんと伝えるべき。

／ 消防大学校（調布市）で消火訓練しているが？ アメリカでは消防士の健康問題が浮上しているが、日本の検診では PFAS を調べていない。大学校近くの井戸で高濃度の PFOA が出ているので情報公開請求している。

／ 沖縄の行政の対応は？ 水道水源を基地と関係ない所に変え、国の基準がなくても全県の土壌調査を始めた。

／ 自衛隊の泡消化剤は？ パイプに充填してあり、使用禁止後も、国内 10 カ所でしか焼却できずコストもかかるので廃棄できない。他の有効な消化剤も見つからず困っている。民間駐車場も同じ状況。



<明さん> 米軍基地の汚染水はどのように処分？ 日本が九州に運び焼却処分した。**／ 日常の飲料水はどうしているか？** 沖縄は硬水で飲みにくいので軟水器や浄水器が普及し水を買うことも多い。ただ、自分の娘が低体重児で生まれたのは、学校などで生水を摂っていたせいかもしれない。

<根木山さん> 血液検査の最終結果は？ 5 月初めか半ばに最終報告の予定（現状、5 月 15 日に 650 人中 551 人の結果を公表）。**／ 血中濃度が高い人の健康相談は？** アメリカでは 20ng/L を超えた人は精密検査をした方がいいとしている。立川のクリニックを中心に、未検査の人にも応じられるよう相談窓口を準備している。**／ フッ素樹脂加工のフライパンの安全性は？** 剥がれないよう慎重に扱う。心配ならフッ素フリーのフライパンを。（諸永さん補足：PFAS は 400 度ぐらいにならないと溶けないので、すぐに危険ということはない）**／ 浄水器の効果は？** 血液検査の結果では、浄水器を使っている人は相対的に血中濃度が低かった。ただし 1 年か 1 年半で効力がなくなるので注意。（諸永さん補足：効果が認められているのは活性炭の浄水器のみ）**／ 農作物への影響は？** 多摩では都市農業が盛んで地場野菜を給食でも積極的に取り入れているが、防災用井戸で高濃度のところがあり、その水が畑に撒かれることもある。井戸水、土壌、作物の検査をしっかりとやるべきだ **／ 周囲の反応の変化は？** 毎日問い合わせがある。実際に PFAS で病気になったという人は沖縄でも本土でもないが、薄い濃度でも発達毒性があり、子供や妊婦にどのような影響があるかよく考えないといけない。

参加者が多すぎて資料が足りないなどスタッフはバタバタでしたが、アンケートでは「大変充実した内容だった」と好評をいただきました。開催して本当に良かったと思いました。なお、講演の録画はレイバーネットの HP <https://www.youtube.com/watch?v=LDXda6my6rI> で見ることができます。「PFAS 汚染問題を考える会」は今後もこの問題に取り組んでいきたいと考えています。（深澤）



忘れない 3.11 展 報告



今年も「忘れない 3.11 展」を 3 月 7 日～12 日、中央公民館にて開催しました。小平・環境の会は昨年引き続き、本田亮さんによる国連 WFP 協会の SDGs ユーモイラストパネルを展示させて頂きました。

今年は、少し展示スペースが広くなり、来場された方々にも、見やすくなったのではないかと思います。

そして、毎年好評の、小平市福島県人会、さよなら原発オール小平をめざす会、と小平・環境の会が共催で行う講演会は、中央公民館ホールにて 3 月 11 日（土）13:30～ 写真家、樋口健二さん取材した「闇に消されてなるものか」の映画上映と、上映後に、この映画を監督された永田浩三さんと樋口健二さんの対談が開催されました。こちらには本当に多くの方に足をお運び頂きました。

その感想を畑仲間（今年 3 月で解散しましたが、環境の会有志でずっと畑もやっていたのです）だった丸目亜希子さんに書いて頂きました。

・映画「闇に消されてなるものか」感想

ロバート・キャパの写真を見て写真家になったという話や、教え子さんとの交流など、樋口さんの半生がわかる魅力的な映画でした。撮影された写真がどのように撮影されたのかなど詳しく明確に覚えていて、説明をされている姿がすごいなあと思いました。写真一枚一枚への思いが伝わりました。貴重な写真だと改めて実感しました。

・講演会の感想

聴講されている方が多く、関心の高さを感じました。原発に対する国や政府の方針や政府に付度した偏向報道を許し難いと考えているので、樋口さんの真つすぐなお話、永田さんの分かりやすいお話を私も聴講できて良かったです。無関心の人にも聞いてほしいと思いました。パブリックビューイングみたいにできたら無関心な人にも届く可能性が増えるかもと思いました。

・3.11 展の感想

今まではパネル展示しか拝見したことが無かったけれど、樋口さんの講演会と中村哲さんの映画（ワーカーズコープが 3 月 11 日（土）13:30～と 12 日（日）10:00～に視聴覚室で上映）を拝見して、3.11 展の素晴らしさを新たに感じました。

特に中村哲さんの映画は哲さんの言葉が満載で素晴らしかったです。また見たいです。

ぜひ、小出裕章さんの講演会を 3.11 展でしてほしいなあと部外者が勝手に熱望しています。青空学校みたいに関心の無いヒトにも届くような講演会聞いてみたいなあ。

丸目さんが書いて下さったとおり、「忘れない 3.11 展」は、毎年見どころ満載なのです。これまで足を運んだことの無い方も、ぜひ来年は見にいらして下さい！（島）



* 小平市の市営グラウンドの人工芝化の検討状況 *

昨年 11 月に発行した「わおん 93 号」で、小川西グラウンドを人工芝化しないよう求める要望書を昨年 8 月に小平・環境の会から小平市長に提出したことをお伝えしました。

▼小川グラウンドから中央公園グラウンドへ転換された人工芝化の検討▲

その後、小平市では、小川西グラウンドよりも、陸上競技団体から水はけが悪いと苦情が寄せられている中央公園グラウンドを人工芝化を含めて改修する検討を始めました。サッカー、ラグビー、野球、陸上など、中央公園グラウンドを利用する団体が参加し、中央公園グラウンドの人工芝化等について検討する会を小平市体育協会が立ち上げ、昨年 9 月に、中央公園の人工芝化を求める要望書を市に提出したそうです。

今年 3 月には、小平市文化スポーツ推進計画が公表されましたが、施策 6「身近にスポーツを楽しめる環境の整備（重点施策）」のなかに、「市営グラウンドの人工芝化等、市民が利用しやすい環境について検討」することが盛り込まれました。

そして、令和 5 年度予算に「市営グラウンド改修のための検討資料作成」費用として、407 万円が計上されました。

▼EU は、昨年 8 月から人工芝に使用されるゴムチップの有害物質を規制▲

このように、小平市は市営グラウンドの人工芝化の検討を進めていますが、Financial Times の報道によると、EU は昨年 8 月から、人工芝に使用されるゴムチップの多環芳香族炭化水素（PAH）含有量に上限を設けることを決定しました。英国スターリング大学のアンドリュー・ワッターソン教授（健康科学）によると、一般的な競技場には、多くの場合、廃タイヤから作られた 120 トンのチップが使用されており、英国では EU 基準を超える発がん性物質が約 6 トン使用されていることになる、と警告しています。日本では未規制ですが、中央公園のように多くの人々が利用する施設に、発がん性物質が使われるのは大きな問題です。

屋外で使用され、海に流れ出て生物に悪影響を与えるのみならず、人間の健康にもよくない人工芝の使用は控えるよう求めます。（水口）

🌸 把握されていなかった！？パブリックコメント 🌸

小平市が公表した「文化スポーツ推進計画」の素案に対するパブリックコメントの募集が、昨年 11 月 21 日から 12 月 20 日まで行われました。この計画素案には、市営グラウンドの人工芝化の検討が含まれていたため、小平・環境の会の役員 2 名が市のホームページ画面からパブリックコメントを提出しました。

ところが、小平・環境の会の役員が、提出したパブリックコメントの取り扱いについて、担当の文化スポーツ課に 3 月 31 日に尋ねたところ、市のホームページ画面から提出された計 7 件のパブリックコメントが、担当課に把握されていなかったことがわかりました。このことは、重大な事態として市議会議員にも報告され、これまでも同様の事案はなかったのか、市として調査することになりました。

調査の結果、平成 30 年度以降に実施したパブリックコメントの募集 29 件のうち、文化スポーツ推進計画も含めて 5 件の募集において、市ホームページを通じて提出された 22 名のパブリックコメントが担当課に把握されていなかったことがわかりました（平成 30 年度以前については、データ消失のため不明とのこと）。

パブリックコメント募集のためのマニュアルがわかりにくく、徹底されていなかったことなどが原因で、今後は、チェックリストの活用などが対策として上げられました。

市民が努力して提出したパブリックコメントが把握されていなかったのは、大きな問題です。小平・環境の会の活動により、これまで長年にわたって見落とされてきた市の体制の不備が明らかになりました。文化スポーツ推進計画で把握されていなかったパブリックコメントは全て「参考意見」とされました。市民の声が真剣に検討される市政の実現を求めます。（水口）

◆ * 総会のお知らせ * ◆

今年は久しぶりに総会を開催します！コロナのせいでできなかった総会を、今年は久しぶりに開催することが決まりました。

6月24日（土）午後2時～ 福社会館 第5集会室にて（4階）

会員のみなさまのご参加をお待ちしています。ぜひ予定に書き込んでおいてください！！会員以外の方も傍聴できます。

●ごみゼロフリーマーケット2023に参加しました



5月27日（土）小平市小川東町のリサイクルセンター広場で、「ごみゼロフリーマーケット2023」が開かれました。当日はお天気に恵まれ、心地よい風も吹く中、気持ちよく作業することができました。

小平・環境の会は、環境にやさしいグッズの販売と、海を埋め尽くすマイクロプラスチックについてのクイズを実施。毎回このクイズをやると、多くの回答者が驚きます。答えが人工芝だからです。

今回のクイズの結果は：

Q 川や港に浮かぶマイクロプラスチックで正体がわかったもののうち一番多かったのは次のどれ？

A 繊維片（糸くず）：2 ブルーシートの破片：1 人工芝：5

ペットボトルやストローの破片：20 肥料の入っていたカプセル：3

やはり「ペットボトル」という人が多かったですが、アクリルなどの化学繊維も洗濯で流出しますし、丈夫なブルーシートも長期間風雨にさらされれば劣化します。人工芝はなおさらです。農村地域で一番多いのは肥料カプセルだそうです。そんなことを説明しました。

今回は、大学生もブースに来てくれて、環境の会に教えを請いたいとの言葉に、ちょっと嬉しくもありました。この若い力が育っていつてくれることを祈る！

残念だったのは、食べた人がざっと洗って返すリユース食器の利用がなく、焼きそばも使い捨てプラ容器で供されたこと。次回は「ごみゼロ」の名に恥じないように、リユース食器を用意したり、マイ食器の持参を呼びかけたりしてほしいです。9月初旬には中央公園で環境フェスティバルが開催されます。ぜひご参加ください！（島、深澤）

～講演会の情報～

巻頭記事の講演会の講師、諸永裕司さんが、小平でお話しされるそうです（新日本婦人の会小平支部 暮らし部主催）

**6月29日（木）午後2時より
中央公民館ホールにて。**

PFASについて誰よりも深く追及してきたジャーナリストから続報を聞くチャンスです！

小平・環境の会

年会費 会員(個人) 1000円
賛助会員(個人・団体) 5000円
郵便振替：口座番号 00150-3-514947
加入者名 小平・環境の会

編集後記

うちの近所にある「いろりの里」が五月末で閉店となり、ショックを受けています。子どもも七五三のときなど、ごくたまにしか中に入ることはなかった高級な和食店ですが、玉川上水に隣接する緑に囲まれた広い敷地で、日本風の中庭を眺めながら、小さな汽車でしゃぶしゃぶの食材が運ばれてくるのを子どもが大喜びしていました。

飲食店としては閉店するということしか決まっていなかったのですが、あの緑溢れる敷地が更地になって、マンションが建ったらどうしようかと、不安で一杯です。何とかできないのか・知恵をお寄せください。(み)

